



第394回地震調査委員会資料

# 令和6年(2024年)能登半島地震の余震分布と 地震発生域周辺の地質と活断層

令和6年1月2日

産業技術総合研究所

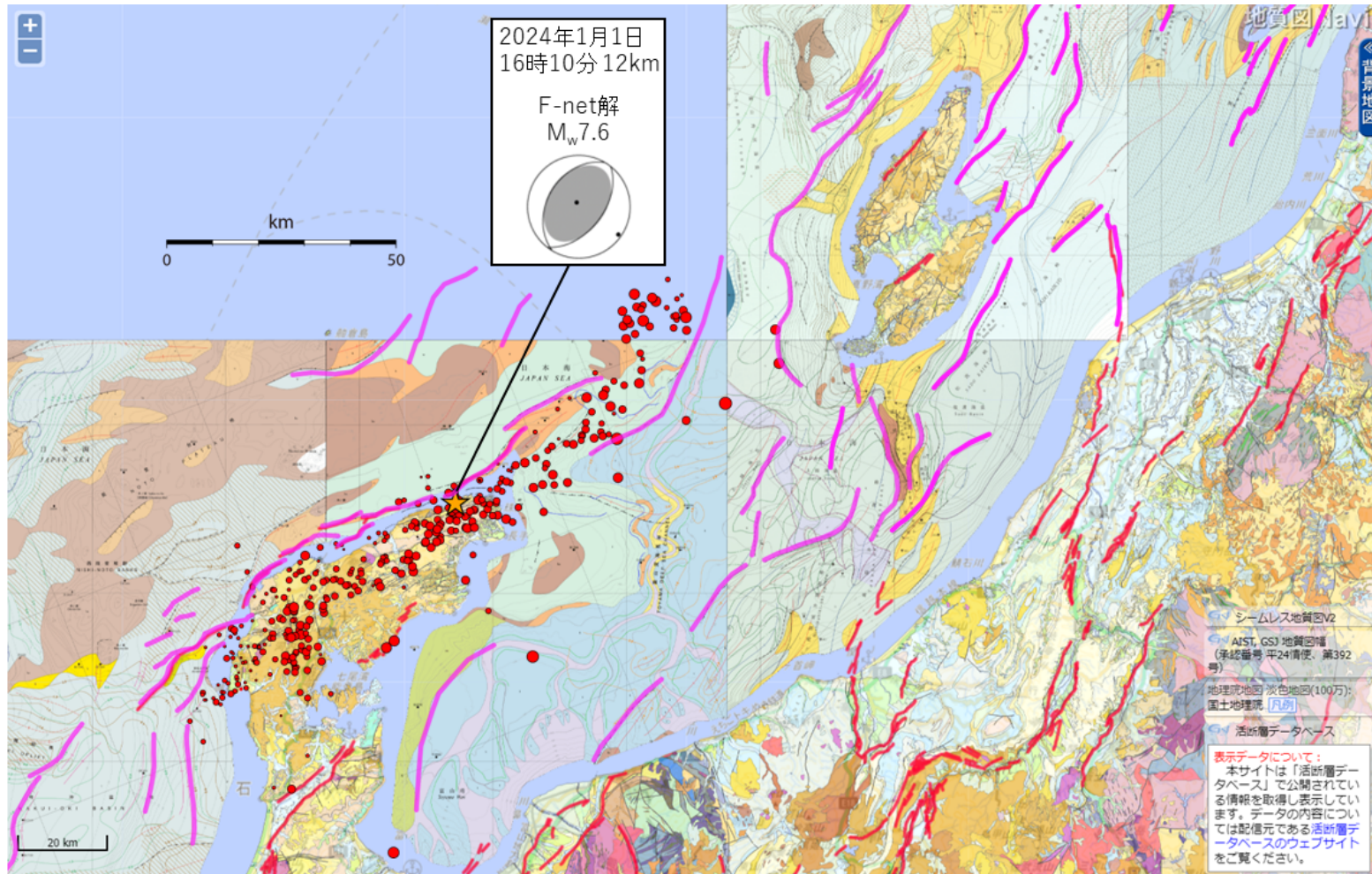


図1 能登半島周辺海域の活断層と2024年1月1日の地震（オレンジ色の星）とその余震の震央分布。紫色の活断層トレースは、岡村（2019）に、赤色の活断層トレースは、活断層データベースに基づく。基図は、20万分の1海底地質図及び日本シームレス地質図V2。震源は防災科学技術研究所Hi-netの自動震源処理結果（2024/1/1 00:00～2024/1/2 08:59、深さ20km以浅）で、メカニズム解は防災科学技術研究所のF-net解を示す。余震分布の北側に沿う断層群は南傾斜、余震分布東部の南東側の断層は北西傾斜を示す。

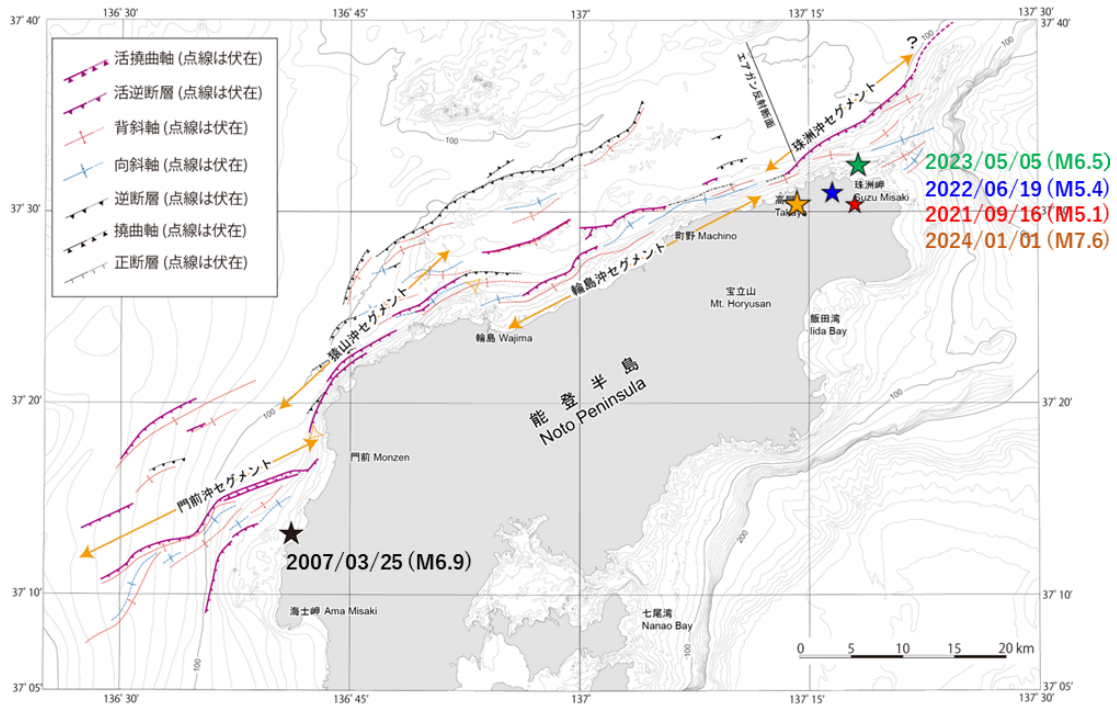


図2 能登半島北岸沖の活断層と2024年1月1日の地震の震央(オレンジ色の星)。基図は、井上・岡村(2010)を一部改変。震源位置は防災科学技術研究所による自動震源位置。参考に、気象庁一元化カタログによる2007年3月25日能登半島地震(M6.9)、2021年9月16日の地震(M5.1)、2022年6月19日の地震(M5.4)、2023年5月5日(M6.5)の震央を黒星、赤星、青星、緑星で示す。

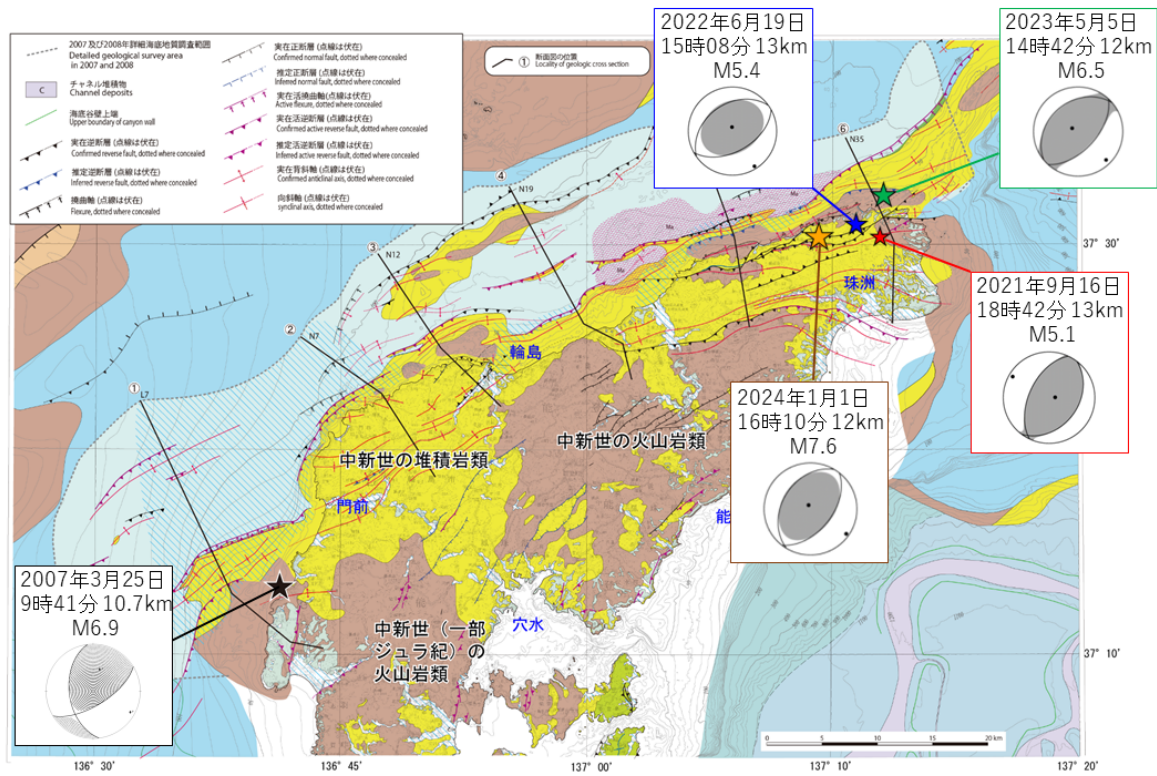


図3 能登半島の海陸シームレス地質図. 基図は、井上ほか（2010）及び尾崎（2010）. メカニズム解は防災科学技術研究所のF-net解を示す. 震央は図2と同じ.

## 引用文献

- 井上卓彦・岡村行信（2010）能登半島北部周辺 20 万分の 1 海域地質図及び説明書. 海陸シームレス地質情報集, 「能登半島北部沿岸域」. 数値地質図 S-1, 地質調査総合センター,  
[https://www.gsj.jp/data/coastal-geology/GSJ\\_DGM\\_S1\\_2010\\_01\\_b\\_sim.pdf](https://www.gsj.jp/data/coastal-geology/GSJ_DGM_S1_2010_01_b_sim.pdf).
- 井上卓彦・尾崎正紀・岡村行信（2010）能登半島北部域 20 万分の 1 海陸シームレス地質図及び地質断面図. 海陸シームレス地質情報集, 「能登半島北部沿岸域」. 数値地質図 S-1, 地質調査総合センター,  
[https://www.gsj.jp/data/coastal-geology/GSJ\\_DGM\\_S1\\_2010\\_03\\_a.pdf](https://www.gsj.jp/data/coastal-geology/GSJ_DGM_S1_2010_03_a.pdf)
- 岡村行信（2019）日本海における活断層の分布と今後の課題, 地震 71, 185-199.
- 岡村行信・竹内圭史・上嶋正人・佐藤幹夫・森尻理恵・駒沢正夫・広島俊夫・宮崎純一（1994）20 万分の 1 佐渡島南方海底地質図, 地質調査所（現 産総研 地質調査総合センター）
- 岡村行信・竹内圭史・上嶋正人・佐藤幹夫（1995）20 万分の 1 佐渡島北方海底地質図, 地質調査所（現 産総研 地質調査総合センター）
- 岡村行信（2002）20 万分の 1 能登半島東方海底地質図, 産総研 地質調査総合センター
- 岡村行信（2007）20 万分の 1 能登半島西方海底地質図, 産総研 地質調査総合センター
- 岡村行信・井上卓彦・尾崎正紀・池原 研・駒澤正夫・大熊茂雄・加野直巳・伊藤忍・横田俊之・山口和雄（2010）海陸シームレス地質情報集, 「能登半島北部沿岸域」. 数値地質図 S-1, 地質調査総合センター,  
<https://www.gsj.jp/researches/project/coastal-geology/results/s-1.html>.
- 尾崎正紀（2010）能登半島北部 20 万分の 1 地質図及び説明書. 海陸シームレス地質情報集, 「能登半島北部沿岸域」. 数値地質図 S-1, 地質調査総合センター,  
<https://www.gsj.jp/researches/project/coastal-geology/results/s-1.html>.